

## 15週 貴い主

**質問 21.** 神の選ばれた者たちの貴い主とは、どなたですか。

**答え I** 神の選ばれた者たちの唯一の貴い主は、主イエス・キリストです。その方は、永遠の神の御子でありながら人となられました。二つの全く区別される本性である、神性と人性を着せられ、住まわれ、ひとつの位格を持っておられ、そして永遠にそもあり続けられます。

**質問 22.** キリストは、神の御子であるながら、どのようにして人となられましたか。

**答え I** 神の御子キリストは、実際的な体と理性的靈魂をとつて人となられました。その方は、聖霊の力によっておとめマリアの胎に宿り、誕生しましたが、罪はない方です。

**質問 23.** キリストは、私たちの貴い主として、どのような職務を遂行されますか。

**答え I** キリストは、私たちの貴い主として、預言者・祭司・王の職務を、謙卑と高舉とされた状態において遂行されます。

解説

## 贖いの契約

契約は、神が罪人を贖うために実行なさる方式ですが、これを「贖い契約」と呼びます。贖い契約は、三位の神が参与なさることで、御父は御子を選び、選んだ民のすべての法的責任を負わせました。そして、御子の贖いの働きの有益によって、選ばれた者たちが永遠の命を得るようにされます。勿論、御父は聖霊によって、彼ら各自に救いが適用できるように定めました。それで御子は選ばれた人々のために、御父が定めた職務を喜んで担われ、御父から聖霊を受け、教会にお与えになります（使徒2:23）。それで聖霊は、選ばれた者たちに救いが有効になるように御業を行います。

## 贖い主

贖いという単語は、奴隸となった者や、捕虜として連れて行かれた者を買われると言う意味があります。初めの契約を破ったことによって人類に入って来た、罪、死、サタンの奴隸となった所から救い、所有することを意味します（エペソ2:1）。キリストが、神の選んだ民の贖い主となられるのは、キリストが、選ばれた者たちを贖うからです。

キリストは、選ばれた民を得るために、ご自身の血を対価として支払いました（Iペテロ1:18-19、1テモテ2:6）。また、選ばれた民を救うために全能の力によって、罪と悪魔の奴隸となっている彼らを救出します（コロサイ2:15）。キリストだけが、唯一の贖い主となられるのは、ただキリストがこの驚く贖いの働きを遂行できたからです（イザヤ63:5）。

## 人となられたキリスト

キリストは、御父が定められた贖いの働きのために人となりました（ヨハネ1:14、

ガラテヤ 4:4)。この方は、選んだ民のために苦難の死を受けなければならなかつたため、人間の体を着なければならなかつた（ヘブル 9:22）。そして、神と選ばれた者たちを和解させるために、大祭司とならなければならなかつた（ヘブル 2:16-17）。

キリストは神でありながら、同時に人間となられた理由は、もし、神でなかつたなら、罪のゆえに人間が受けるべき御怒りに耐えることができず、神の公義を完全に満足させられなかつたからです。それで、キリストのうちには神性と人性が結合されています。そして分離することはできません。キリストはひとつの位格をもっておられ、永遠にそある続けられます（ヘブル 7:24-25）。

### おとめマリアから誕生

キリストは、御父が定められた贖いの御業のために、喜んで人間の体を着ました。キリストは人性を取られることで、選んだ者たちの贖い主として資格を相応しく取られました（ヘブル 10:6-7）。キリストの体は、実際の体でした。そして、理性的靈魂を取られました（イザヤ 53:10、マタイ 26:38）。おとめマリアの胎に、聖靈の御業によって奇跡的に身ごもり、そして罪のない状態で誕生されます。これは、贖いの御業を遂行するための必須的なことでした。

### 贖い主の職務

キリストの贖い主としての職務は、神と人間との間の唯一の仲介者としての働きです（I テモテ 2:5、ヘブル 8:6、12:24）。キリストがこの職務を担うためには、必ず、神性と人性をお持ちにならなければなりませんでした。

キリストの職務は、先ず、神として、神と人間との間を和解させること、そして神の啓示を人間に示し、ご自身の死によって、ご自分の民の罪を赦すこと

でした。そしてキリストは、ご自身の教会のためにすべてにおいて万物の王となられます。また、キリストが人間とならなければならなかつた理由は、第二のアダムとして人間を代表し、律法の下で従順し、人間のために罪の刑罰を受け、私たちと同じように試みを受けたのですが、罪があつてはならなかつたのです。キリストは眞実で、慈悲深い大祭司として、ご自分の民を憐れまれました（ヘブル2:17-18、4:15-16）。

贖い主の職務は、私たちの悲惨さと関連があります。預言者の職務は、私たちの心の無知を悟らせるためであり、祭司の職務は、私たちの罪責を担うためでした。そして王の職務は、私たちを罪と汚染から救い出すためでした。キリストは、このすべての職務を、ご自身の民と関連させ履行されました（Iコリント1:30）。

勿論、この職務には順序があります。先ず、預言者として、ご自分の民を靈的に悟らせます。そして、祭司としては、義を獲得し、覺醒が起きている靈魂に義を付与なさいます。そして王としては、ご自分の民を支配なさいます。キリストの贖い主としての職務は、この方が、人間の体を着て低くなられた状態と、昇天し、天の御座の右に座しておられる状態において、すべてを遂行されています。